

第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020-22年度評価報告書 作成方針

1 評価報告書作成方針

＜評価の期間＞

- 今年度、国デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、新たな総合戦略を策定するため、第2期総合戦略の進捗状況等を振り返り、3年間の総括的な評価が必要

計画期間（2020～2024年度）のうち2020～2022年度の3年間の取組に関する評価

＜評価方法＞

- 2022年度も、2020年度、2021年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が続き、今回評価対象とする3年間は十分な事業実施ができなかった

今回も2020・2021年度と同様の評価方法とし、3年間の評価報告書を作成

構成		～2019年度評価報告書	2020/2021年度評価報告書	2020-22評価報告書
全体	評価	<地方創生推進会議> ・4段階評価	<地方創生推進会議> ・進捗状況の定性的評価	<地方創生推進会議> ・3年間の進捗状況の定性的評価
	今後の対応	<地方創生推進会議> ・今後の取組みに向けた意見	(同左)	(同左)
基本目標	達成状況の把握	<各局> ・「数値目標」実績値	(同左)	(同左)
	コロナの影響	なし	<地域政策課> ・コロナによる社会環境の変化とその影響（グランドデザイン評価報告書記載内容を参考）	<地域政策課> ・3年間のコロナによる社会環境の変化とその影響（グランドデザイン点検報告書記載内容を参考）
	評価	<地方創生推進会議（二次評価）> ・4段階評価 ・進捗状況の定性的評価	<地方創生推進会議（二次評価）> ・ 4段階評価は実施しない ・進捗状況の定性的評価	<地方創生推進会議（二次評価）> ・ 4段階評価は実施しない ・3年間の進捗状況の定性的評価
	今後の対応	<地方創生推進会議> ・今後の取組みに向けた意見	(同左)	(同左)
小柱	進捗状況の把握	<各局> ・実施事業及びその成果 ・KPI達成状況（実績値、達成率）	<各局> ・実施事業及びその成果をコロナによる影響の有無別に整理 ・KPI達成状況（実績値、達成率）	<各局> ・3年間の実施事業及びその成果をコロナによる影響の有無別に整理 ・KPI達成状況（実績値、達成率）
	評価	<各局（一次評価）> ・4段階評価 ・総合分析	実施しない	実施しない
	今後の対応	<各局> ・課題認識 ・今後の取組内容	<各局> ・ 課題認識は実施しない ・今後の取組内容（現年度の新規取組、取組の改善、個別計画の見直し予定など）に絞って記載	<各局> ・ 課題認識は実施しない ・今後の取組内容（現年度の新規取組、取組の改善、個別計画の見直し予定など）に絞って記載

2 地方創生推進会議からいただきたい意見

小柱（具体的な取組み）ごとの「2020-22年度の主な取組みと成果」「K P I 進捗状況」「今後の取組みの方向性」に記載されている内容を踏まえ、次のとおりご意見をいただきます。

○ 3年間の県の取組に対する意見《2020～2022年度分》

- ・これまでの3年間でコロナ禍であった中で、
 - ㊦ 予定どおりしっかりと進捗できたもの
 - ㊧ あまり進捗がみられず、より一層の工夫が求められるもの
 - ㊨ コロナ対応を優先する中で、想定どおりに進捗しなかったことはやむを得ないと認められるもの

○ 県の今後の取組に向けた意見《2023年度以降》

- ・コロナ禍における県の取組結果を踏まえ、今後のウィズコロナ社会において求められる工夫や取組

3 評価報告書（案）への反映

部会終了後、部会長と協議のうえ、次のとおり評価報告書（案）に記載・反映します。

- ・総合戦略全体に関するご意見
⇒「神奈川県地方創生推進会議の評価」（P. 10～11）
- ・基本目標ごとの具体的な取組に対するご意見
⇒各基本目標の「地方創生推進会議からの意見」（P. 15、37、54、73）